

■腹腔鏡下（ふくくうきょうか）手術

- 内視鏡手術では、おなかに5ミリから2センチ程度の小さな穴を開け、そこから内視鏡と細い手術器具をおなかの中に入れて手術を行います。



- おなかの中には二酸化炭素ガスを注入し、ふくらませることにより手術に必要なスペースを確保します。



- 内視鏡は胃カメラのような器具ですが、この手術専用のものは腹腔鏡（ふくくうきょう）と呼ばれています。腹腔鏡には CCD と呼ばれるカメラを取り付け、おなかの中の様子をモニターに映し出します
- 内視鏡により拡大された精細な視野のもとで正確な手術が行えるメリットがあります。



■泌尿器科における腹腔鏡下手術（ふくくうきょうか）は標準的な術式？！

- 日本における泌尿器・腹腔鏡手術の歴史はまだ10年程度と、比較的歴史の浅い治療です。
- しかし、腹腔鏡手術を行う技術を持った施設においては、腎臓・副腎・前立腺の手術は標準的な術式となっています。
- 当院においても腎臓・副腎・前立腺のみならず、膀胱も標準的な術式になっております。

■常に進化している腹腔鏡下（ふくくうきょうか）手術

- ①ポート数（あなの数）を減らす。
 - Reduced Port Surgery（単孔式手術+1ポート、単孔式手術+2ポート）
 - Laparoendoscopic Single Site Surgery（単孔式手術）
- ②ロボット補助下腹腔鏡（ロボットほじょかふくくうきょう）手術

■傷跡のない手術？！

■傷跡が目立たない手術

単孔式（たんこうしき）内視鏡外科手術

- 最近では、お臍（へそ）1つの切開から腹腔鏡（ふくくうきょう）や手術器具を挿入して手術を行う単孔式内視鏡外科手術と呼ばれる手術が行われるようになりました。
- お臍（へそ）にあける切開創（せつかいそう）は500円硬貨の直径よりも小さい傷跡で、手術後はお臍（へそ）に隠れてほとんど目立たなくなってしまうます。
- 開腹手術や従来の内視鏡外科手術と比較して、美容的なメリットが期待できます。
-

当院では、症例によって、前立腺・副腎・腎疾患の腹腔鏡手術に対して導入しております。

■単孔式腎部分切除術（針型鉗子を用いた） ■単孔式副腎摘出術（針型鉗子を用いた）



■浸潤性膀胱がん

- 開腹による膀胱全摘が標準治療です。
- 腹腔鏡下（ふくくうきょうか）膀胱全摘術は 2012 年 4 月より保険診療が可能になり、増えつつありますが、全国で数施設のみです。東海圏では当病院が初めて行いました。
- 5-6 ポートが一般的（5-6 個の“あな”をあける）ですが、当院では、単孔式手術用の器具を用い、3 ポートで腹腔鏡下膀胱全摘術（3 か所の創でできる）を行っています。
- 腹腔鏡下膀胱全摘術に 3 ポートで行っているのは当施設のみです。



■前立腺がんに対する腹腔鏡下（ふくくうきょうか）前立腺悪性腫瘍手術

- 当院では、2006 年 4 月より腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術を開始。
- 2009 年 2 月～施設認定を受けており、保険診療が可能です。
- 2011 年 11 月より 2 ポート手術を開始。
- 2012 年 8 月より単孔式（たんこうしき）手術を導入し、さらなる低侵襲に努めております。

■開腹と腹腔鏡手術（5 ポート）の比較：術後



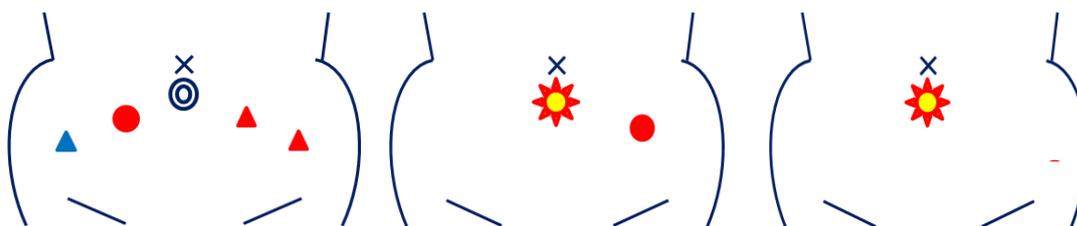
■腹腔鏡下（ふくくううきょうか）前立腺悪性腫瘍手術

当院での工夫：①ポート数（“あな”の数）を減らす。

●Reduced Port Surgery：2ポート（2孔式）前立腺全摘術の導入し、現在一般手術として施行しております。一般手術として行っているのは、世界で当施設のみです（2013年現在）。

●Laparoendoscopic Single Site Surgery（単孔式（たんこうしき）手術）：針型鉗子を用いた単孔式前立腺全摘術を導入しております。

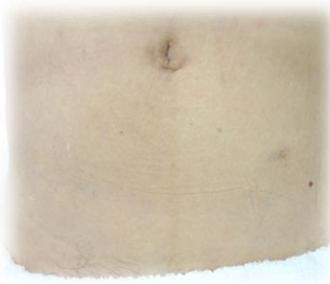
2ポート（2孔式）前立腺全摘術、単孔式前立腺全摘術ともに、施行しているのは、全国で数施設のみです。



5ポート

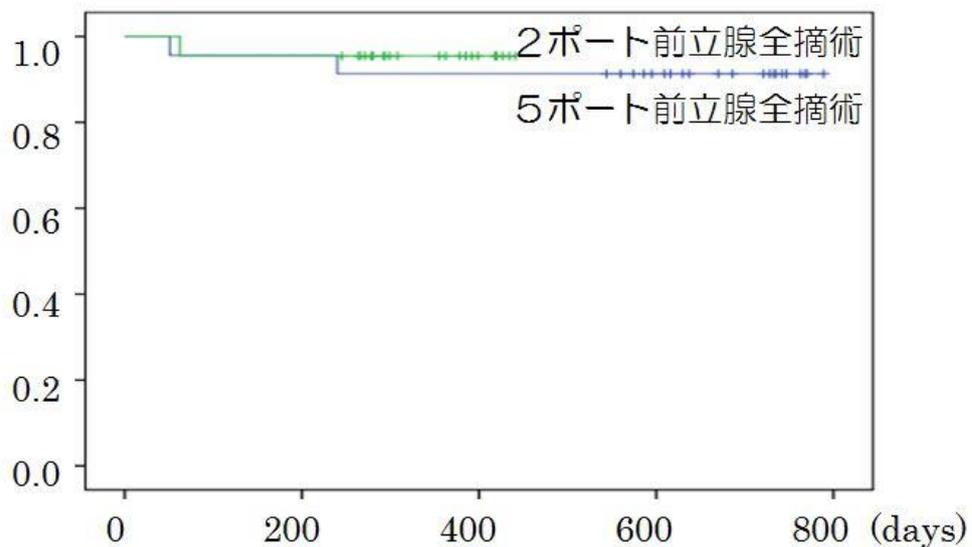
2ポート

単孔式手術



■ 生化学的再発曲線

制癌性において、5 ポート、2 ポートとも変化はありませんでした。



■ ロボット補助下腹腔鏡下前立腺全摘術（5～6 ポート）

当院ではまだ導入されておりませんが、5～6 ポート（5～6 個の孔で手術＝5～6 個の創）です。



ロボット補助下腹腔鏡下前立腺全摘術（名古屋市立大学病院）

■ すべての疾患に対して内視鏡手術が行えるわけではありません

- 高度に進行した悪性腫瘍や、
- 過去に開腹手術を繰り返し受けた状態、
- 炎症が高度な場合、
- 全身状態が悪い場合など、
- 内視鏡手術を行うと危険な場合もあります。